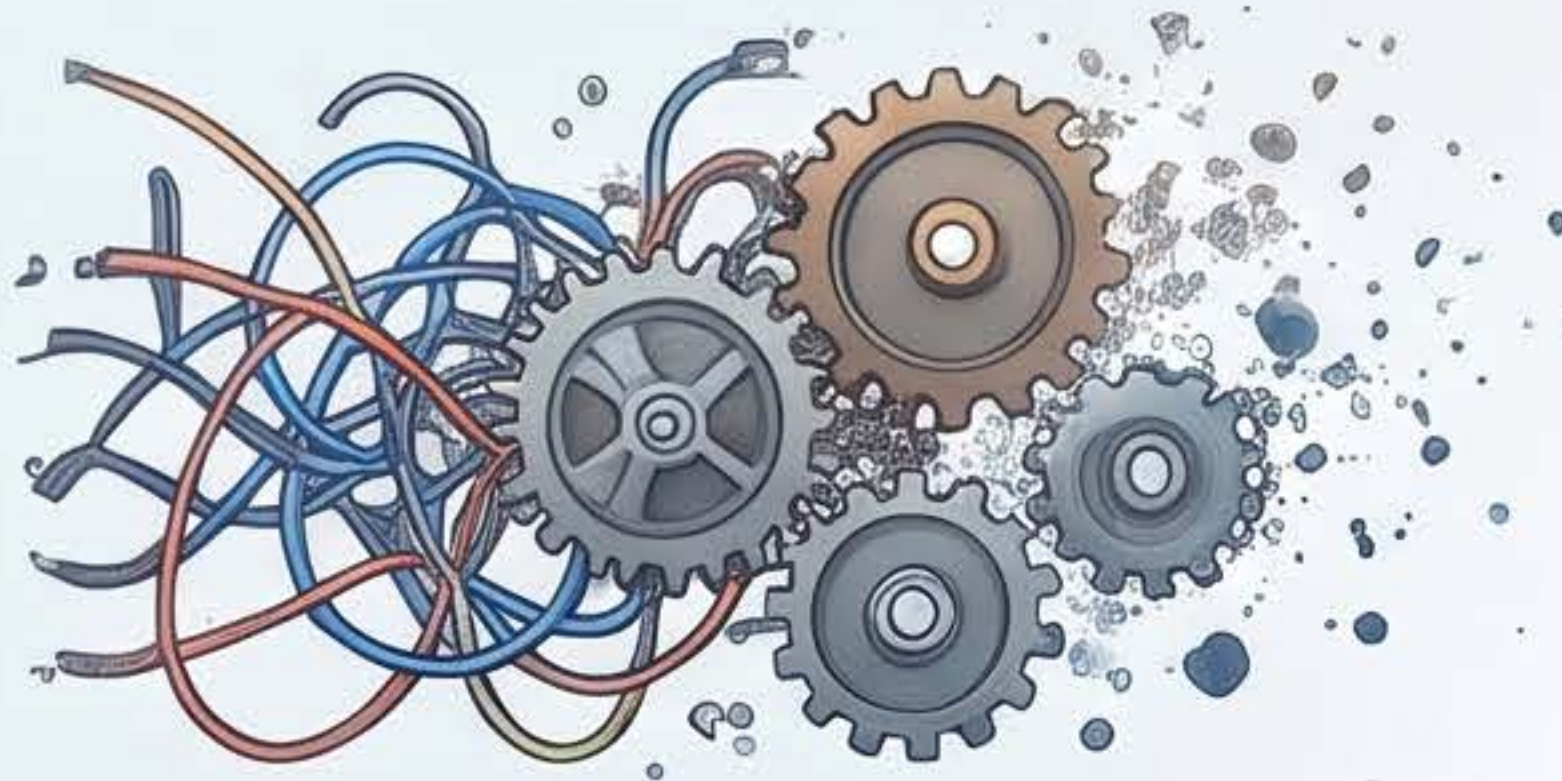


AI高性能化で「ハーネス」は不要になるのか？最新研究が明かす真実

AIの高性能化に伴い、知能を補う手作りのハーネスの効果は薄れ、最小構成の実行環境が優位に。
しかし、実行基盤、安全管理、未知領域での制約など、モデル単体では代替できない機能は依然として不可欠。

AIの高性能化で【薄れる】機能

複雑な探索・複数エージェント協調の作り込み



強いモデルでは、手動で組み上げた複雑な制御による上乗せ効果が消失します。

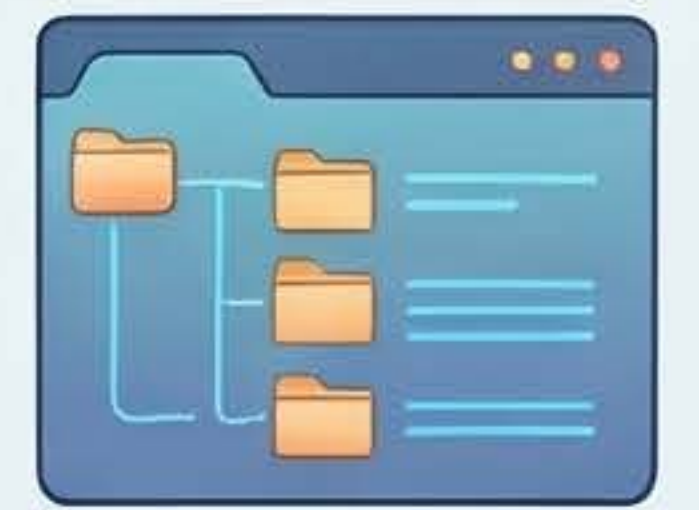
精度向上目的の計画機能と固定ツール群



計画機能は精度向上ではなくコスト削減に寄与し、明確なツール定義の必要性も低下します。

AIが進化しても【残る・増える】機能

シェルとファイルシステムを備えた実行環境



エージェントが安全に動作・実行できる足場自体が最も大きな成果を生み出します。

権限管理・セキュリティ・コスト制御
破滅的誤操作の防止や、文脈肥大化による推論コスト爆発の抑制は代替不可能です。

未学習領域におけるガードレールと指示



AIが得意としない新タスクや未経験の領域では、プロンプトや制約の再追加が必要です。